

企業の  
SDGs活動を  
応援!

第一生命  
全国SDGs取組みアンケート

慶應義塾大学大学院  
蟹江憲史教授  
監修

## 集計結果のお知らせ 全業種版

アンケートにご協力いただいた企業のみなさま、ありがとうございました

第一生命は2021年10月1日～12月31日の期間で全国の中小企業を対象にSDGsの取組み項目を調査し、10,618社からの回答を集計分析いたしました。分析結果は中小企業応援活動の一環として、官公庁等へお届けし、SDGs推進活動に貢献してまいります。

### 経営者が選んだSDGsの取組みの上位5項目をご紹介します



健康診断の実施

56.6%



人材育成

35.2%



節電や再生可能  
エネルギー導入

18.9%

4位

女性活躍推進

18.7%

5位

処遇の改善

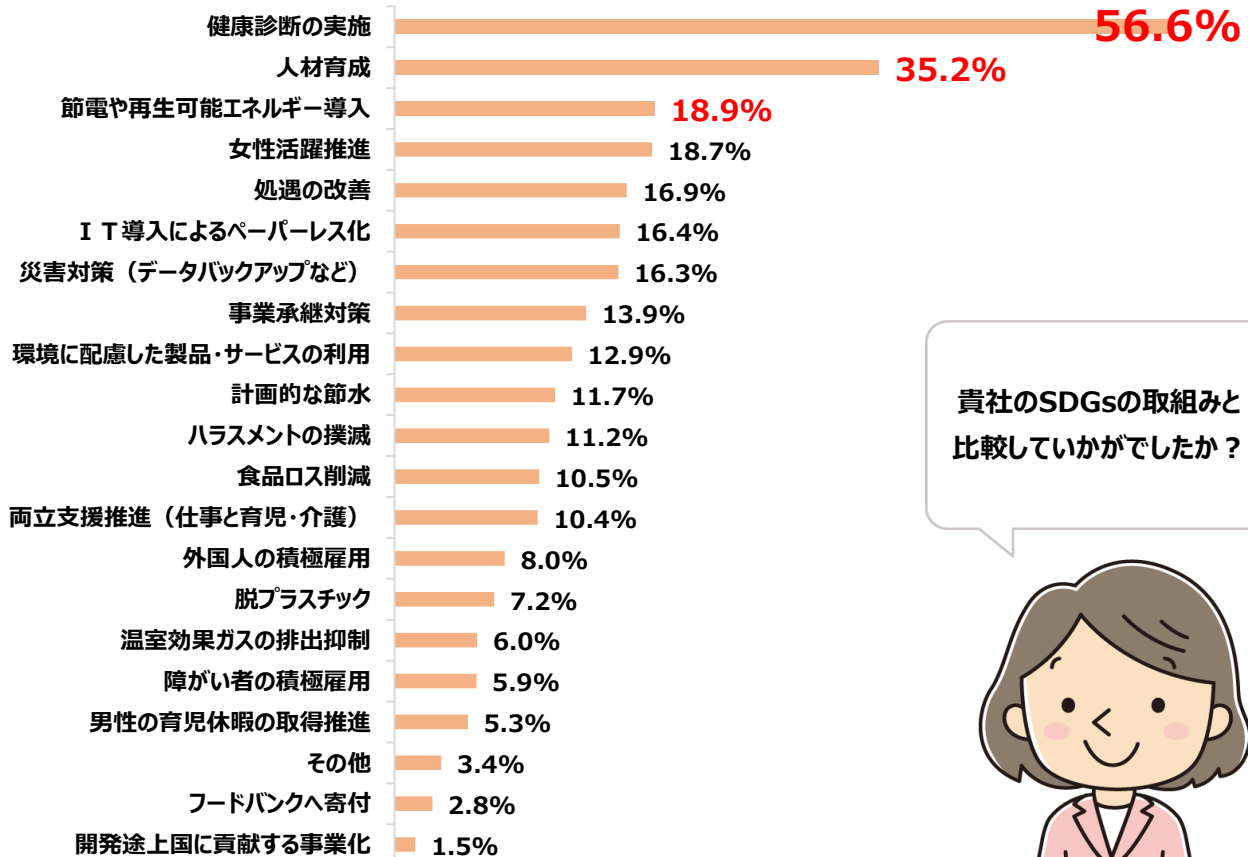
16.9%

SDGsの取組みで  
最も多かったのは、  
**健康診断の実施**で  
**56.6%**でした!



さらに詳しい内容をうら面でご紹介します

## 経営者が選んだSDGsの取組みの全項目をご紹介します



貴社のSDGsの取組みと比較していかがでしたか？



## 慶應義塾大学大学院 蟹江教授 総評

中小企業を対象として、これほど大規模にSDGsの取組み実態を調査した例は、私の知る限りこれまではなかったことだと思います。大企業のSDGsへの取組みが浸透し、また、マスメディアでもSDGsが取り上げられることが多くなる中、中小企業によるSDGsへの取組みが課題となっています。今回、その実態を3万社ものアンケート調査により明らかにした意義は大変大きいと思います。

調査結果を見ると、第一に、SDGsへの取組みと、日ごろ取り組んでいる活動とがうまく結びついておらず、両者の間にギャップがあることがわかります。実際には、例えば健康診断の実施企業は70%を超えていたり、感染症予防や長時間労働の抑制、災害対策など、SDGs達成に貢献する活動を行っている企業の割合は、「実際にSDGsに取り組んでいる」と回答した25%よりもはるかに大きくなっています。したがって、何がSDGsに貢献しているのか、今一度整理してチェックすること、そしてそのための簡単なツールを提供していくことが今後重要になってくるのがわかります。

アンケート調査では、助成金制度や税制優遇などの支援制度を求める声が大変大きいこともわかりました。SDGsに取り組むメリットが多くなれば、それだけ取組みを進める企業も増えてきます。そして中小企業が取組みを進めることで、地域が元気になり、持続可能な世界の実現が近づきます。それは日本全体の活力を高めることにもつながることでしょう。こうしたことから、国や地方自治体は、SDGs達成が経済に資するものだという認識を高めて、SDGsに取り組む企業を応援する仕組みを実現していただきたいと思います。

今ある制度をよく見ていくと、実はすでに存在する制度がSDGs達成に貢献する例が少なからずあることに気づきます。ただ、SDGsに貢献する取組みと既存制度とが結びついていないケースが多く、SDGsへの取組み意欲と制度の活用とが必ずしも結びついていないように見受けられます。この点で、企業向けSDGsチェックリストがSDGsと既存の制度や仕組みとを結びつけたことの意義が大変大きいと考えます。こうしたものが中小企業の皆さんの気づきにつながり、活動が活性化されることで、経済・社会・環境面の好循環が始まります。

資料を見ていくと、業種別に関心の高い活動や支援を必要としている領域などもわかります。例えば農林漁業では食品ロス削減への関心が特に高くなっています。これは、今後ターゲットを絞った取組み支援や対策を行う時に有効な資料となるでしょう。

今後は、実際にチェックリストがどのように活用されたのか、支援制度への申請状況がどのように変わったのかということも明らかにしていくと良いと思います。そのうえで、行政主体との協働なども行いながら、SDGsと絡めた更なる支援策を創造していくことを期待しています。



慶應義塾大学大学院  
蟹江 憲史 教授

引受保険会社

### 第一生命保険株式会社

〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1

電話 (03) 3216-1211 (大代表)

◎ホームページ <https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

お届けしたのは…